

2023(令和 5)年度 ～ゆいまーる業務改善 in おきなわ～

## 医療法人はごろも会 仲本病院(現 那覇ゆい病院)

### 病棟での看護師から看護補助者へのタスクシフトによる業務改善



病床数 75 床 療養病床 59 床 域包括病床 16 床  
職員数 137 名 看護師 32 名 看護補助者 34 名

#### 《課題・背景》

- ◆人員不足に伴い本来の看護師業務が困難
  - 退院支援が不十分
  - ケアの質の低下
  - コミュニケーション不足による ACP 不十分
- ◆現状分析
  - 看護師と補助者が同様のケアを行っている
  - 補助者の業務範囲や教育体制が不十分

#### 《目的・目標》

- 1 看護師の専門性が発揮できる職場環境をつくる
- 2 看護補助者の活用推進のための適切なマネジメントを行う

#### 《取組み内容》

##### オムツ交換時の皮膚観察項目(補助者用)

看護補助者用 オムツ交換時の皮膚観察項目	
目的 看護チームの一員として看護業務が円滑に実施されるための役割を看護補助者に委ねることで実現する	
適切なオムツ交換時	
観察項目	内容
1 オムツ交換の前後、お尻の皮膚	オムツの交換から皮膚の状態
2 顔の表情	オムツの交換から顔の状態
3 おむつの当て方	オムツの交換からおむつの当て方
4 排泄の状態	量(量に異常があるか)、性状(色や性状の異常)
5 排泄の性状	フスルスル、臭い、量など
看護補助者用	
観察項目	内容
1 排泄の状態の観察	排泄の状態に異常があるか
2 エアマットの交換	排泄の状態に異常があるか

習得出来たら  
認定証授与



- 1 看護師の専門性が発揮できる職場環境をつくる
  - 業務スケジュールおよび手順の標準化
  - 看護補助者へのタスクシフト(調査の結果でおむつ交換)することで以下を充実
    - ① 家族との連絡調整業務 ② チームカンファレンス ③ 退院支援カンファレンス
  - 各委員会活動の促進(リンクナースの活動促進)
- 2 看護補助者の活用推進のための適切なマネジメントを行う
  - 看護補助者への教育
    - ① e-ラーニングの導入 ② 排泄ケア勉強会の開催 ③ ラウンド参加による知識の習得
    - ④ 看護補助者ラダーの導入
  - 看護補助者業務の標準化

#### 《成果・効果》

- ① 看護補助者への教育・業務の標準化したことで
  - ▶看護補助者に安心して業務を任せることができた
- ② 退院調整カンファレンス件数が増えたことで
  - ▶平均在院日数の減少につながった
- ③ 委員会活動の強化を図ったことで
  - ▶リンクナースの役割の発揮できた

#### ナースセンターから一言

- ◎看護補助者の業務の標準化を行い、オムツ交換時の皮膚観察が習得できた場合は認定証を発行し補助者のやりがいにつながる取り組みを評価♪♪
- ◎安心してタスクシフトできる報告ですの、是非参考にしてみてください。

タスクシフトにより看護師が専門性の業務に専念できた

